

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)

【公開番号】特開 2005-251707 (P2005-251707A)
 【公開日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-036
 【出願番号】特願 2004-93718 (P2004-93718)
 【国際特許分類】

H 0 1 R 35/04 (2006.01)

H 0 1 R 24/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 35/04 B

H 0 1 R 17/04 5 0 1 G

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 12 月 14 日 (2005.12.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

硬性を有するコンタクトを有するコネクタ部が相互に回動可能に連結されていて、かつ、前記コンタクト間が接続媒体を通じて電氣的に接続されている同軸ケーブル用コネクタであって、

前記各コネクタ部の連結部分を通る接続媒体を、軟性を有するリード線としている同軸ケーブル用コネクタ。

【請求項 2】

前記リード線は、前記コネクタ部を相互に回動させた場合であっても撓んでいる長さとなっている請求項 1 記載の同軸ケーブル用コネクタ。

【請求項 3】

前記リード線は、前記連結部分で螺旋状に収容されていて、当該連結部分を通るリード線の中心軸を、前記コネクタ部の回動軸上としている請求項 1 又は 2 記載の同軸ケーブル用コネクタ。

【請求項 4】

前記請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の同軸ケーブル用コネクタが取り付けられていることを特徴とする同軸ケーブル。